



# 第3次吹田市 生涯学習(楽習) 推進計画



吹田市



## 目次

はじめに	1
基本構想	

---

第1章 計画の目的と経緯	3
1 計画の目的	3
2 これまでの計画	3
3 生涯学習に関する答申や法律の改正	3
4 第3次計画を策定するに向けての方針	4
第2章 計画の位置づけと期間	5
1 計画の位置づけ	5
2 計画の期間	5
第3章 生涯学習の定義	6
1 生涯学習とは	6
2 様々な生涯学習活動	6
第4章 生涯学習推進の意義	8
1 高まる生涯学習の必要性	8
2 現代的課題に対応した学習	8
3 スポーツを取り入れた学習の推進	9
4 循環型の生涯学習	9
第5章 生涯学習推進施策の基本的視点	10
第6章 吹田市の特長と行政の役割	11
1 吹田市の特長的な学習資源	11
2 生涯学習推進のための行政の役割	11
第7章 これからの生涯学習	13

## 基本計画

---

施策体系	15
基本方向Ⅰ 推進体制の整備	16
基本方向Ⅱ 活動の支援	19
基本方向Ⅲ 活動の場の整備	28
基本方向Ⅳ 広範な学習機会づくり	31
基本方向Ⅴ スポーツを通じた学習の推進	38

参考資料1 第3次吹田市生涯学習(楽習)推進計画 基本計画図 施策体系図	42
参考資料2 用語解説(50音順)	43
参考資料3 第3次吹田市生涯学習(楽習)推進計画 策定の経緯	49
参考資料4 吹田市社会教育委員一覧・吹田市生涯学習専門研究員	50
参考資料5 吹田市生涯学習推進本部設置要領	51

## はじめに

本市が最初の生涯学習推進計画を策定してから 20年が経ちました。この間、「生涯学習」の意義が、「学び、自己を向上させる」ことから、「人生を楽しみ、より豊かにする」ことへと、変わってきています。

ニーズの変化、高まりに合わせて、学びの機会も様々な形で増えてきました。座学だけではなく、スポーツ、まち歩き、ボランティア、踊り、歌、音楽、絵画、写真、彫刻、書道など、多種多様な学びの場が広がり、それぞれに学びの仲間が集まっています。

そうした中、これからの生涯学習施策を進める上で、行政が担うべき役割、力点を置くべきポイントとしては、市民の皆様が「楽しく」学び続けていけるようサポートしていくことだと考えています。「楽しみ」がなければ、長く続けることはできません。そこで、今回策定した第 3 次の計画のタイトルには、「生涯学習（楽習）」との表現を盛り込みました。

社会とつながり、生き生きと健康に暮らしていくには、「会う人、する事、行くところ」が身近にあることがとても重要です。「する事」とりわけ「楽しめること」があってこそ、仲間と出会うことができ、また、出掛けて行ける場所が見つかるともいえます。本計画のもと、今後とも、市民の皆様の「楽習」をサポートしてまいります。

また、本市は 5 大学 1 研究機関という学習資源に恵まれたまちです。昨年 10 月には「市立吹田サッカースタジアム」が完成し、ガンバ大阪の活躍はもとより、世界トップレベルの試合の開催も期待されているところです。こうした施設も含め、多彩な学びの場が豊富であるという本市の強みを存分に生かしつつ、生涯学習活動の輪をさらに大きく広げ、お一人でも多くの方の日々の暮らしに彩りを添えることができるよう計画を推進してまいります。

第3次

吹田市生涯学習（楽習）推進計画

---

発行／吹田市生涯学習推進本部

（事務局：地域教育部まなびの支援課）

〒564-8550 吹田市泉町1丁目3番40号

電話番号 06-6384-1271

FAX番号 06-6368-9907